



とのやま



【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒

富士見台中学校HP

未来の安心のために

9月2日の学校朝会では、9月1日の「防災の日」にちなんで、防災について考える講話をしました。1923年のこの日に関東大震災が発生し、甚大な被害が出たことをきっかけに、「防災の日」が定められました。日本は地震、台風、大雨など、災害が多い国です。だからこそ、「自分の命は自分で守る」という意識がとても重要です。

災害時には、必ずしもすぐに大人が助けてくれるとは限りません。自分で考え、行動する力が求められます。例えば、家の中で地震が起きたとき、どこに身を守るスペースがあるかを知っておくことは大切です。机の下に入る、窓から離れるなど、日頃から家族と話し合っておくことで、いざというときに落ち着いて行動できます。避難場所や連絡手段を確認しておくことも、命を守る準備のひとつです。

この夏は、大雨による水害が各地で発生しました。川の氾濫や道路の冠水などのニュース、心が痛みました。このような出来事から、私たちは改めて「危険な場所に近づかないこと」が大切だということを学んだはずです。水の流れは見た目以上に強く、膝ほどの深さでも体が流されてしまいます。スマートフォンやテレビから「警報」や「避難指示」が出たら、早めに安全な場所へ移動する。「まだ大丈夫」ではなく、「危ないかも」と感じたらすぐ行動することが命を守ります。

最近では、タレントのゆうちゃみさんが「防災持ち出しカバン」を紹介しているテレビCMが放映されています。中には水や食料、簡易トイレなど、身近なお店でそろえられるものが入っています。特別なことではなく、実際に準備するかどうか大きな差になります。学校の避難訓練も同じです。真剣に取り組むことで、自分や友達を守る力になります。

昨日の給食では「救給カレー」という非常食が提供されました。普段と違う食事を体験することで、「非常時の食事はこういうものなんだ」と実感し、防災について考えるきっかけになったと思います。

防災は、学校だけでなく家庭でも取り組むべき大切なテーマです。特別なことをする必要はありません。家族と避難場所を話し合う、警報が出たらすぐ行動する。そんな一つ一つが、自分の命を守る力になります。

ぜひ、ご家庭でも防災について話し合い、実際の備えを見直すきっかけとしていただければと思います。また、こうした家庭での取り組みが、地域全体の防災力を高める第一歩にもつながります。

「一人一人の意識と行動が、未来の安心をつくる」と、学校としても引き続き指導してまいります。

政府広報オンライン
防災特集



仙台市
わが家と地域の
防災チェック表



＜学校総合体育大会県大会結果(7/19～7/28)＞

・柔道 ＜男子団体＞ 第3位 関東大会出場決定
 ＜男子個人＞○
 ＜女子個人＞○

＜第50回関東中学校柔道大会(8/6～8/8)＞

＜男子団体＞

・1回戦 富士見台中 1対4 足利第一中 惜敗

＜第33回全日本新体操クラブ選手権2部リーグSJJの部＞

・

＜第1回プラチナ6 EX-GAMES

(埼玉県中学野球連盟主催)＞

・

＜第66回埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会＞

・吹奏楽部 中学生Aの部 銀賞

＜令和7年度埼玉県硬筆中央展覧会＞

・

10月の行事予定

10月	1	水	開校記念日 PTA 合同登校指導	部x
	2	木	中間テスト1日目	部x
	3	金	中間テスト2日目	部x
	4	土		
	5	日		
	6	月	45分日課 合唱コン放課後練習(～10/20)	
	7	火	生徒会本部役員任命式(朝会)	
	8	水	45分日課 専門委員会	部x
	9	木	入間東部学力テスト(3年) 木①②④③⑤⑥ 50×5 45×1(6限のみ45分)	
	10	金		
	11	土		
	12	日		
	13	月	スポーツの日	
	14	火	表彰朝会	
	15	水		部x
	16	木		
	17	金		
	18	土		
	19	日		
	20	月		
	21	火	合唱コンクール(キラリ☆ふじみ)	部x
	22	水	表彰朝会 木曜日課⑤⑥①②③④	部x
	23	木	金曜日課③④⑤⑥①② 1年いのちの授業(5限)	
	24	金	水曜日課	
	25	土		
	26	日		
	27	月	駅伝大会市内予選会	
	28	火		
	29	水	駅伝大会市内予選会(予備日)	部x
	30	木	⑤⑥2年救急講習体験(2年)	
	31	金	三者面談 金③④①② 50×4 小中合唱交流会(3限) 完全下校16:20	

＜9月1日の「防災の日」に救給カレーを試食＞

毎年1人1個分の救給カレーを市で購入して、学校に保管してあります。現在、3年分のカレーが保管してあり、そのうち1つを9月1日の「防災の日」に給食の主食として食べました。最初からカレーとご飯が混ぜられていて、温めなくてもとても美味しく食べることができました。

今回の救給カレーは、全国の栄養教諭・学校栄養職員の手により、災害被災体験の教訓のもとに専門職のこだわりをもって開発されたものです。東日本大震災時には、富士見市でも停電や水道が使用できなくなったり、スーパーからトイレトーパーや食料品が無くなってしまうということがありました。三陸沖を震源として甚大な被害を及ぼした東日本大震災。震源地近くでは、多くの死傷者があり、多くの人々が長い避難所等での生活を強いられました。「当たり前の生活の有難さ」や「家族や人との繋がり大切さ」を再認識し、日々の生活や命への感謝の気持ちを深めていかなければと感じます。

今回の救給カレーは、私たちが忘れてはいけないことを思い出させてくれて、食べられるということがいかに有難いことかを感じさせてくれました。是非、ご家庭でも学校で救給カレーを食べてみた感想を、お子さんから聞いてみて、「防災」について考えるきっかけにしてみてください。



(前面) 学校給食用非常食 (後面) 詳しい説明入り

※救給カレー：アレルギー特定原材料等28品目不使用